

令和5年度

第2回地域脱炭素 マッチング会



富良野市

FURANO

自己紹介

氏名

尾崎 翔汰

趣味・特技

アルペンスキー

(小学校1年生～大学～現在)

所属

市民生活部環境課

※大卒入庁2年目

出身

北海道富良野市

家からスキー場まで徒歩3分の環境で育ち、競技歴18年の中で国際大会、全国大会出場の経験あり。

【脱炭素にかける思い】

大学2年生の時に行ったフランス遠征で現地のコーチから「地球温暖化の影響で氷河が溶けてしまい、今使っているコースは来年にはなくなっているだろう」という話を聞き、大好きなスキーというスポーツの存在が脅かされていることに危機感を感じた。

富良野市で20年近くスキーをしていると否が応でも雪質の違いに気づかされる場所であるが、ここ数年の雪質の変化は顕著で、明らかに水分が多い。

富良野市のパウダースノーを最大限楽しむため、そしてその雪質を自分の子供たち、孫たちの世代まで大切に守り抜いていくためにも、なんとしても脱炭素化を進めなければならないと思っている。



富良野市の概要

位置

北海道のへそ

北海道の中心に位置

人口

約2.0万人

R5.9現在 19,942人 10,584世帯

面積

60,071ha

年平均気温 7.5℃

最高気温 (2022.7.30) 33.3℃

最低気温 (2023.1.20) -26.6℃

年間日照時間 1,596.7 時間

年間降水量 1,178.0 mm

最深積雪 (1/14) 101 cm

平均風速 2.0 m/s

野菜産地

北海道2位 (全国16位)

農林水産省 市町村別農業産出額 (野菜)
特にメロンなどの施設園芸 (ハウス) が盛ん
ハウス面積は北海道でトップクラス

農業産出額

189.4億円

北海道農業の縮図 (野菜・水田・果樹...)
気温の日格差が大きい⇒良食味



観光客数

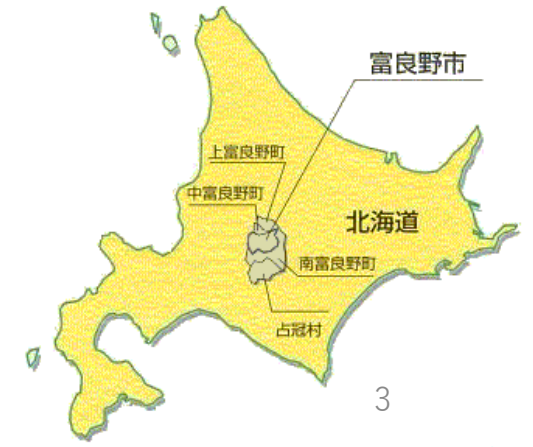
年間約200万人

夏は花や田園風景、冬はスキーを中心とした観光
※R4はコロナの影響もあり162.8万人
※宿泊延べ数 RI・63万泊 (外国人15万泊)

観光意欲度

全国7位

「観光や旅行に行ってみたい」地域ランキング
ブランド総合研究所 地域ブランド調査2022



富良野市の概要 (環境・リサイクル)

ごみ分別

リサイクル率90%

「燃やさない・埋めない」を基本理念に14分別

有機肥料

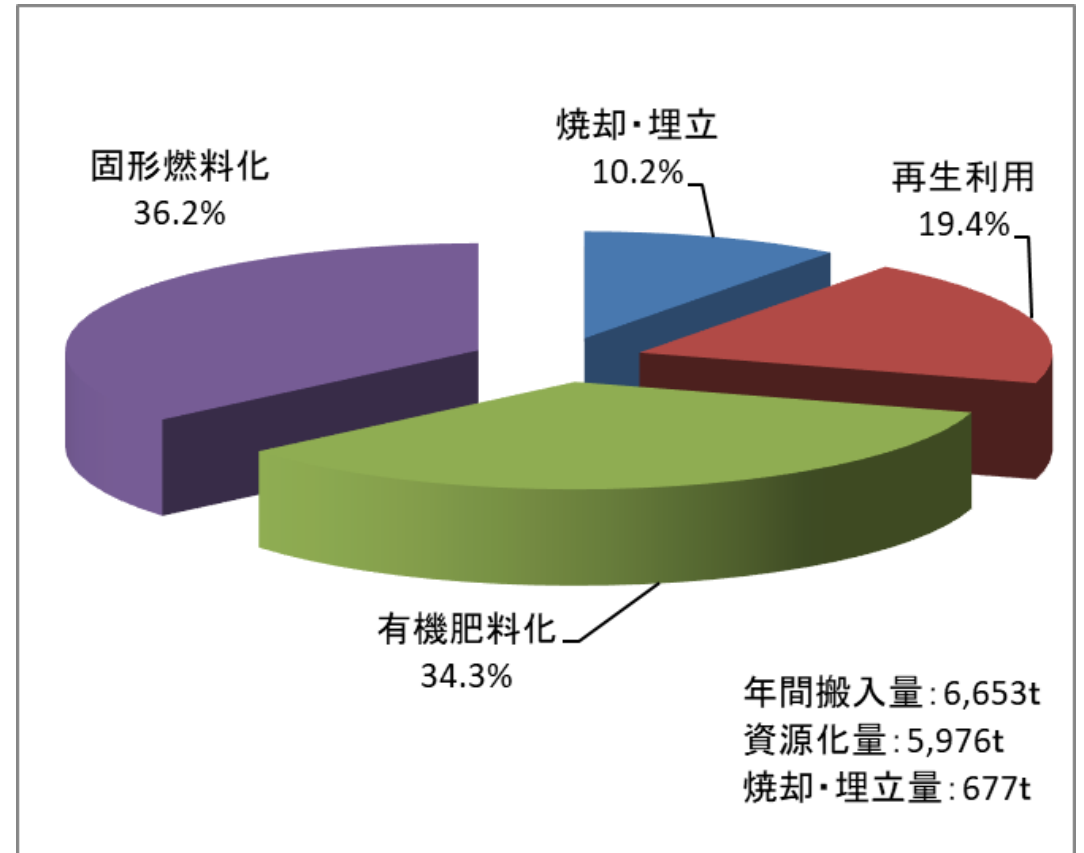
生ごみ・下水汚泥・し尿 全量堆肥化

地域の農業者及び住民へ全量販売し還元

固形燃料

RDFを製造

市外温水供給施設への販売の他、市内温浴施設の温水ボイラで利用



リサイクルセンター
固形燃料化施設



広域連合環境衛生センター
(堆肥化施設)



ごみ分別研修会



廃棄衣料の再生



リサイクルマーケット



働き手不足・高齢化

「リサイクル × 農業 × 観光」 × **ゼロカーボン**

富良野の新たな魅力づくりへの挑戦

富良野ブランドの低下

物価高騰

2050年 再エネ導入の将来像

富良野市 脱炭素ロードマップ

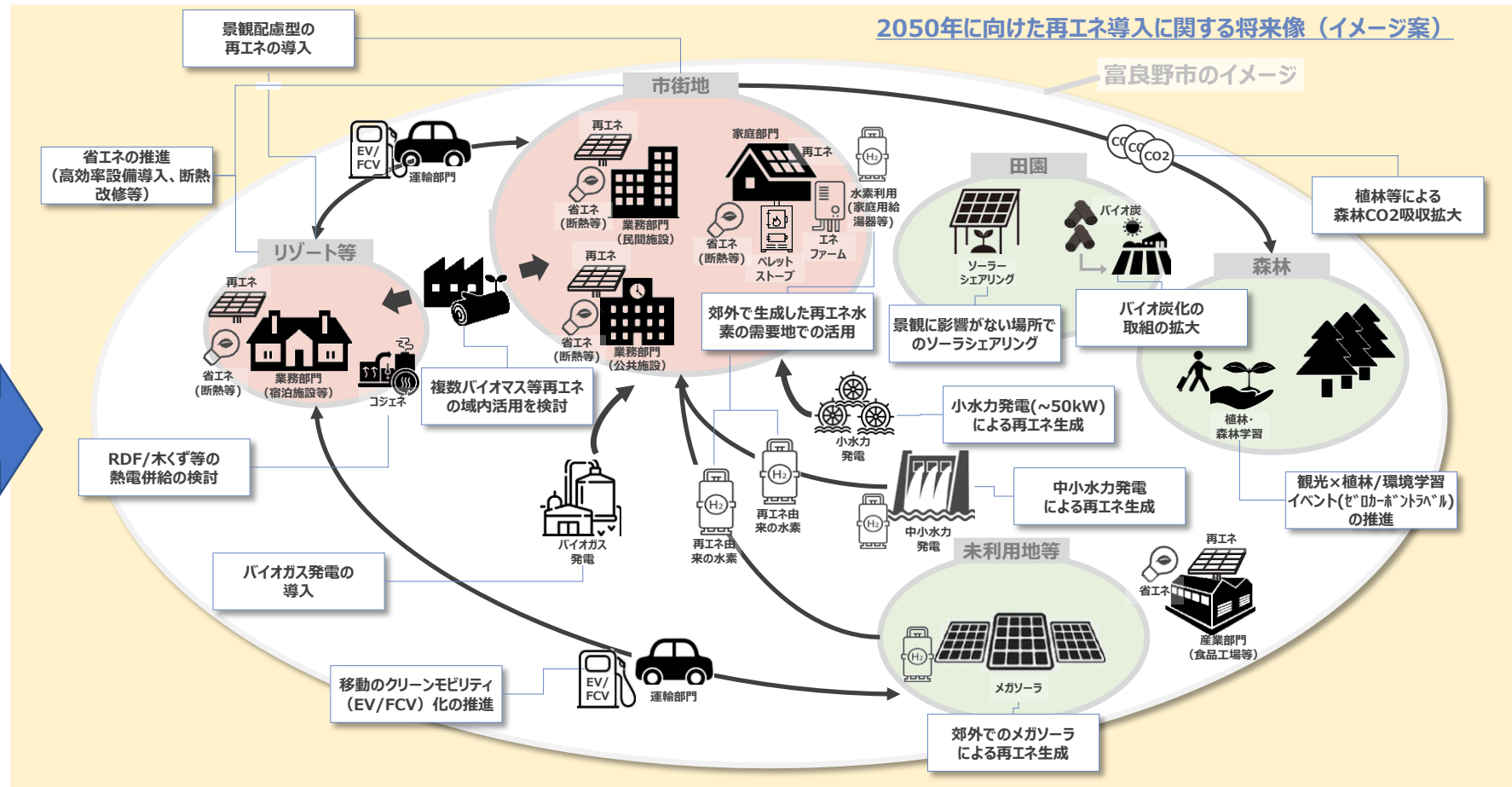
～2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて～



ZERO CARBON
HOKKAIDO
FURANO

令和5年4月 富良野市

2050年に向けた再エネ導入に関する将来像 (イメージ案)



ゼロカーボン取り組みの5つの柱



取り組み推進の7つの視点

- (1) 市民の脱炭素スタイル転換への意識醸成
- (2) 景観に配慮した取組であること
- (3) 農村と市街地の資源循環の仕組みづくり
- (4) 先進的な技術の積極的な試行と活用
- (5) 農業や観光の活性化や課題解決に繋がる取組であること
- (6) エネルギーコストが地域内で循環する仕組みづくり
- (7) 森林による二酸化炭素吸収力の維持・強化

再エネにおける地域特性



東部

市街地

富良野

山部

東山

木質

面積の70%が森林（針広混交林、人工林 6,650ha、天然林 20,658ha）

水力

盆地で、すり鉢状に多くの河川（市河川数122、うち8河川で導入ポテンシャルが高い）

農業

農業残さ・家畜ふん尿（農業／複合経営：50品目栽培、酪農／乳牛約5千頭、規模大）

太陽光

観光への影響を配慮、農地への設置は極力避ける

環境的な壁

積雪寒冷地、かつ農村部が点在しており、再エネ導入が遅れている

- ・約60,000haのうち、市街地と農地は1/3程度の20,000ha。
- ・基幹産業の農業においては、一戸あたりの耕作面積が平均16ha。またエネルギーを多く使用するハウスが点在している。
- ・（例えば）太陽光発電設備については、住宅設置は全体の3%弱に留まっている。
- ・太陽光以外の再エネ導入が進んでいない。

現状の取組



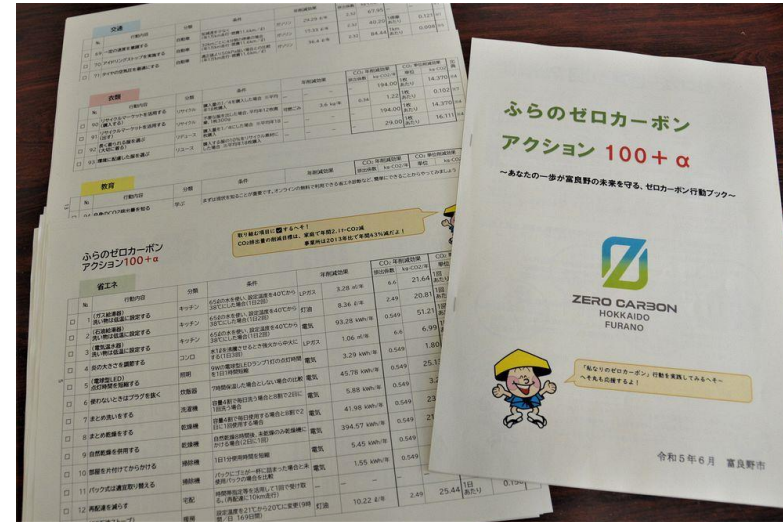
- 市独自による市民・事業者向け補助事業の実施
 - ・住宅用太陽光発電設備導入補助
R5年度より補助単価を拡大し、最大50万円補助
 - ・木質（ペレット・薪）ストーブ導入補助
R5年度より対象件数を拡大し、最大15万円補助
- 小水力発電の調査研究の実施
小河川を活用した発電の試験をH25より実施。電力は地域の小学校に送電。
- ごみリサイクルによる固形燃料（RDF）の製造
市内温浴施設のボイラーで活用しているが、市内利用拡大には塩素濃度の低減が必要。

心理的な壁

ゼロカーボンへの 市民意識が低い

- ・一方で、ごみ分別やリサイクルの意識は非常に高く、市が実施している施策のなかで満足度が高い施策となっている。
- ・この高い意識を「ゼロカーボン」へステップアップさせたい。

現状の取組



富良野市職員 ゼロカーボン自主行動宣言

- 宣言
富良野市役所は市民民生業務部門において、温室効果ガスの多量排出事業者となっています。2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、私たち富良野市職員は、市民・事業者と一緒に取り組む「ふらのゼロカーボンアクション100+α」の行動を推進し、率先して、以下の行動を自主的かつ積極的に行うことを宣言します。
- ゼロカーボンに資する職員自主行動項目
1. ゼロカーボンやSDGsなど持続可能な地域づくりに向けた施策を推進します。
 2. 紙使用を控え、会議や打ち合わせ時の資料を原則ペーパーレス化します。
 3. グループウェアなどを活用し、移動に掛る時間を積極的に短縮します。
 4. 通勤時等に徒歩や自転車利用を積極的に進めます。
 5. メイドインフランクなど地産品を活用し、食品・製品を積極的に利用します。
 6. 環境に配慮した製品を積極的に活用します。
 7. イベント等の開催時には環境に配慮します。
 8. ごみ分別を徹底します。
 9. マイバックス・マイボールを原則携帯します。
 10. クールビズ・ウォームビズを原則実施します。
 11. 通勤時はエコドライブをします。
 12. 公共交通機関を積極的に利用します。
 13. 飲食の食べ残しなど食品ロスを極力なくします。
 14. 会議室等の冷暖房温度を適切に設定します。
 15. こまめに消灯するなど、積極的に節電します。

○ふらのゼロカーボンアクション100+α
本市独自に、ゼロカーボン行動例100と、その行動変容によるCO2削減効果を掲載した冊子を作成

○富良野市職員 ゼロカーボン自主行動宣言
上記のアクションとあわせ、市職員自らが率先して実施することを宣言

①太陽光等、商用ベースとなった技術の導入加速化

企業に求めたいこと

- ・リース等による初期投資を軽減した様々な再エネ導入の提案（個人や事業者含め）
- ・農業分野（特にハウス）での熱利用技術の提案

リソース

- ・北海道初となる水処理施設へのPPA方式での太陽光発電の導入（R4.7供用開始） ※先進的に取り組みを進めている。

② 「水素」及び「木質」活用に向けた知見・調査研究

企業に求めたいこと

- ・ (水素) 本市にあったグリーン水素の製造・運搬・利用技術の知見・調査研究
- ・ (木質) 林地残材活用に関する知見・調査研究

リソース

- ・ 実証フィールド確保のサポート
- ・ 関係団体とのコネクションをサポート

③市民・事業者へのゼロカーボン行動の促し

企業に求めたいこと

住民向け脱炭素アプリの提案
(現状や行動変容効果の「可視化」)

リソース

ゼロカーボン行動例ブック

ふらのゼロカーボンアクション100+α

ふらのサステナブル
ツーリズムHP



ふらのゼロカーボン
アクション100+α



富良野市環境基本計画
脱炭素ロードマップ



担当部署 富良野市市民生活部環境課（尾崎・石出）
〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
TEL 0167-39-2308 FAX 0167-23-1313
メール kankyou-ka@city.furano.Hokkaido.jp



富良野市

FURANO